

### (3) 不法投棄等の現状と課題

本県における令和元年度の産業廃棄物の不法投棄等の発見件数（10 t 以上）は10件（図2－11（1）参照）、投棄量は約179 t となっています。

不法投棄の実行者は、全てが排出事業者によるものであり、**その多くが建設・解体工事に伴って排出される建設系廃棄物となっています。**投棄されている廃棄物の内訳は、木くずが全体量の45%を占め、次いで、がれき類（同30%）の順となっています。

また、10 t 未満のものも含む令和元年度の総発見件数は40件、うち解決件数（発見された事案で解決された件数）は26件となっています。（図2－11（2）参照）

不法投棄等の未然防止と早期解決を図るためには、排出事業者や処理業者に対する意識啓発や原因者、排出事業者に対する撤去などの責任追及の徹底などが求められています。

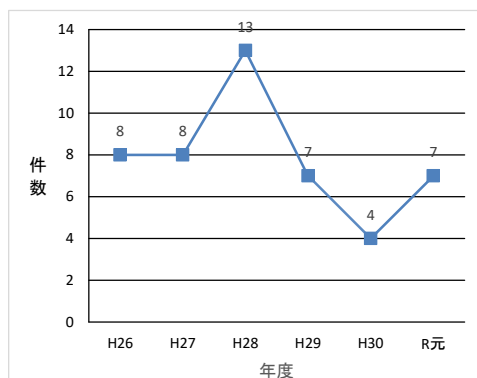


図2－11（1）  
10 t 以上の不法投棄等の総発見件数

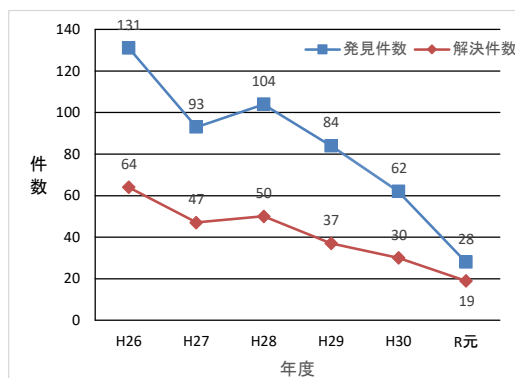


図2－11（2）  
不法投棄等の総発見件数等

### (4) 目標達成状況

「第3次青森県循環型社会形成推進計画」（平成28年3月）では、排出量、再生利用、最終処分量について、令和2年度（計画策定時は平成32年度。以下同じ。）の目標値を設定しています。（表2－20参照）

表2－20 第3次青森県循環型社会形成推進計画における産業廃棄物処理の目標

- |  |
|--|
| <p>① 令和2年度の排出量を平成25年度（294万9千 t）より約4.1%増の306万9千 t とする。</p> <p>② 令和2年度の再生利用量を平成25年度（140万1千 t）より約4.9%増の146万9千 t とする。</p> <p>③ 令和2年度最終処分量を平成25年度（6万1千 t）と同じ6万1千 t とする。</p> |
|--|

#### ◎令和2年度の目標値と平成30年度の実績値との比較 （表2－21参照）

##### ① 排出量

平成25年度（294万9千 t）より約4.1%増の306万9千 t 以内への抑制という令和2年度の目標に対して、平成30年度の実績は316万2千 t と、目標を9万3千 t 上回っており、現状では目標を達成していません。

##### ② 再生利用量

令和2年度の目標値である146万9千 t に対して、平成30年度の実績は152万 t と、現状では目標を達成しています。

##### ③ 最終処分量

平成25年度（6万1千 t）と同じく6万1千 t に抑制するという令和2年度の目標に対して、平成30年度の実績は7万1千 t と、目標を1万 t 上回っており、現状では目標を達成していません。